

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

関西経済レポート

関西の各種指標をみると、一部に持ち直しの動きがあるものの、海外経済減速などの影響から足踏み状態となっている。

輸出は、中国を含むアジア向けの減少が続き、厳しい状態が続く。

雇用が徐々に改善するも、個人消費は高額品を中心に緩やかに持ち直している。

先行きについては、電力の供給制約、海外経済の動向や為替相場の影響等に注視が必要である。



2012年8月31日

関経連経済調査部

※本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

～目次～

生産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

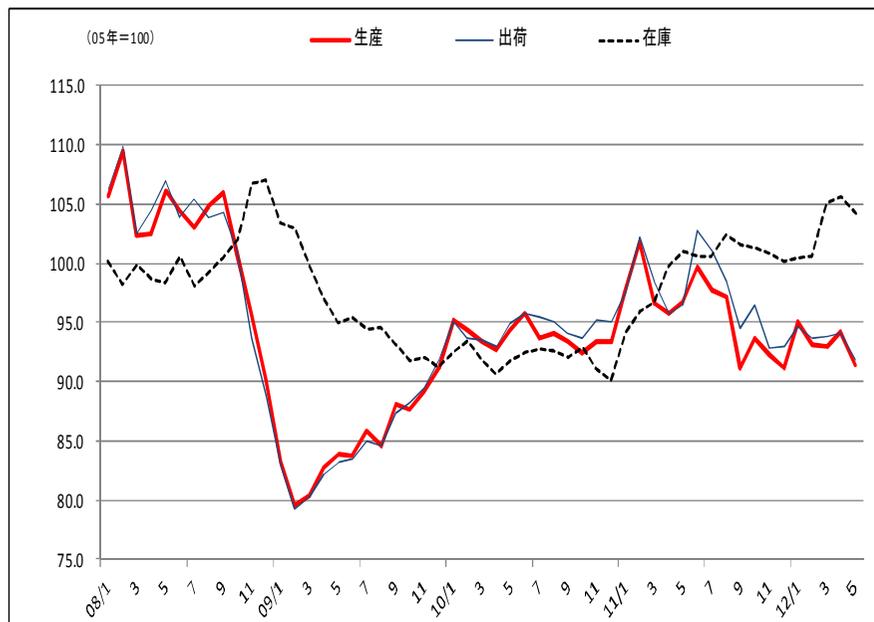
輸出入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

個人消費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

雇用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

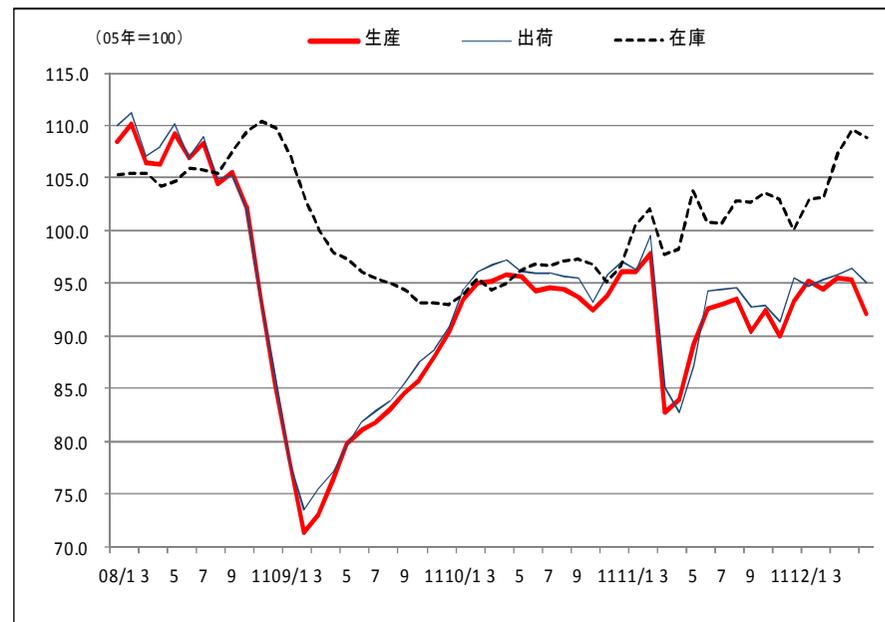
～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2012年6月確報まで）



（出所）近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2012年6月確報まで）

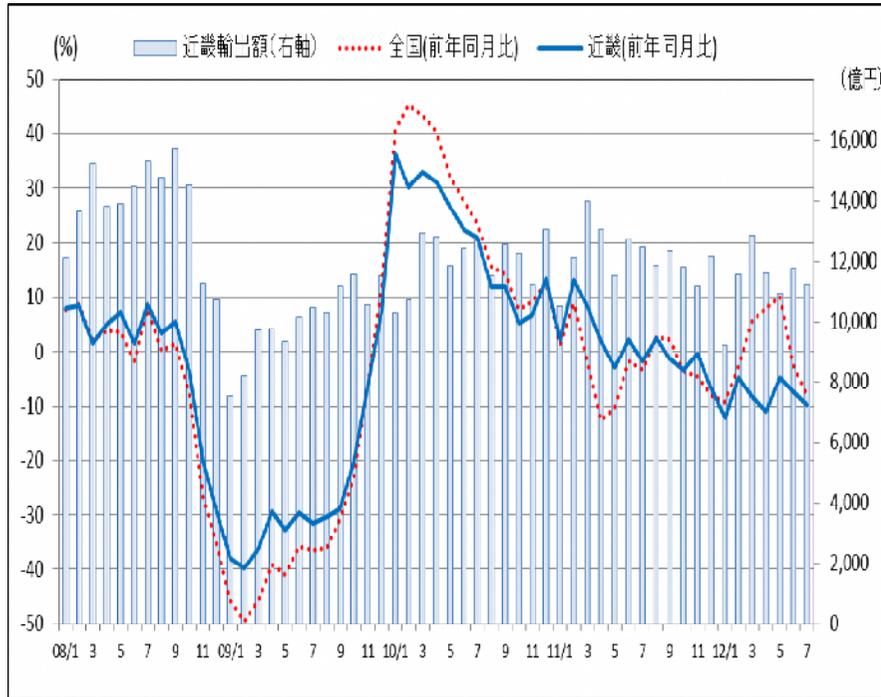


（出所）経済産業省

- ・ 近畿の6月（確報）の鉱工業生産指数は、91.9。前月比+0.5%と2カ月ぶりの上昇。総じて見れば、生産は横ばい。
出荷は前月比+0.3%の92.2と、3カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比+1.2%の105.5と2カ月ぶりの上昇。
業種別にみると、電子部品・デバイス工業、情報通信機械工業等の生産が上昇。
品目別にみると、蒸気タービン部品、フラットパネルディスプレイ製造装置などが上昇に寄与。
- ・ 全国の6月（確報）の鉱工業生産指数は、92.6。前月比+0.4%と3カ月ぶりの上昇。総じて見れば、横ばいの傾向。
出荷は、前月比▲0.9%の94.2と2カ月連続の低下。在庫は、前月比▲1.2%の107.5と2カ月連続の低下。
業種別では、化学工業、電子部品・デバイス工業、一般機械工業等などが上昇に寄与。
製造工業生産予測調査によると、7月は上昇、8月は低下を予測している。

～輸出入～

輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年7月まで）

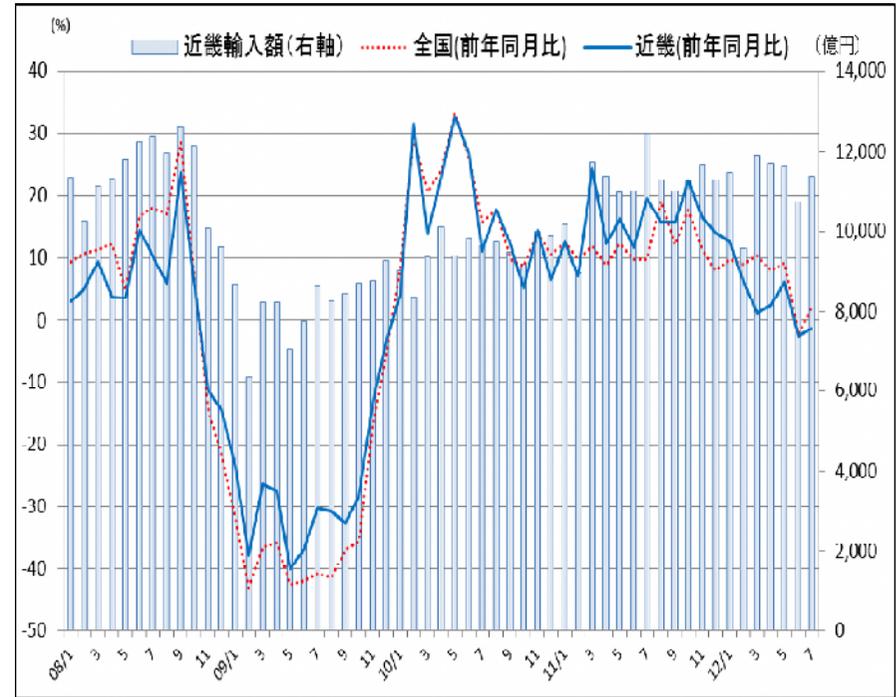


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

○近畿の月次の輸出動向（2012年7月まで）

- ・7月の近畿の輸出額は1兆1,239億円、前年同月比▲9.8%。
11カ月連続の前年同月比マイナス。
- ・地域別では、アジア向けが前年同月比▲10.0%10カ月連続のマイナス。うち中国向けは同▲11.8%と8カ月連続のマイナス。
EU向けは同▲25.6%と12カ月連続のマイナス、米国向けは同▲0.1%と2カ月連続のマイナス。
- ・半導体電子部品、映像機器、通信機等が減少。
- ・全国の7月の輸出額は5兆3,133円、前年同月比▲8.1%。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年7月まで）

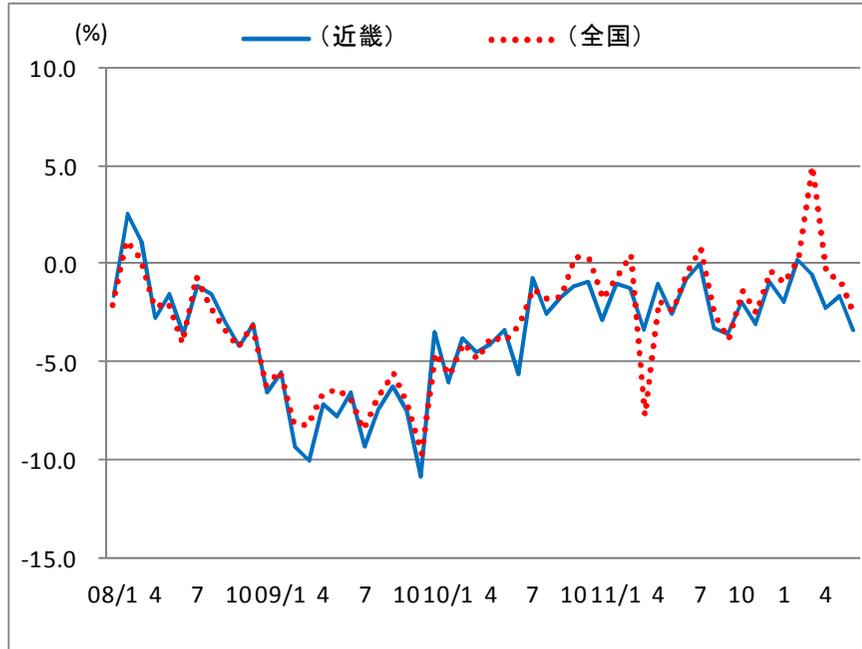


○近畿の月次の輸入動向（2012年7月まで）

- ・7月の近畿の輸入額は1兆1,381億円、前年同月比▲1.3%と2カ月連続のマイナス。
- ・音響・映像機器(含む部品)、原油、天然ガス等が減少。
- ・地域別では、対アジアが前年同月比▲1.9%と2カ月連続のマイナス。アジアのうち対中国が同▲2.8%と2ヶ月連続のマイナス。対米国が同+15.6%と6カ月ぶりのプラス。対EUは同+8.7%と5カ月ぶりのプラス。
- ・全国の輸入額は5兆8,307億円、前年同月比+2.1%と2カ月ぶりのプラス。

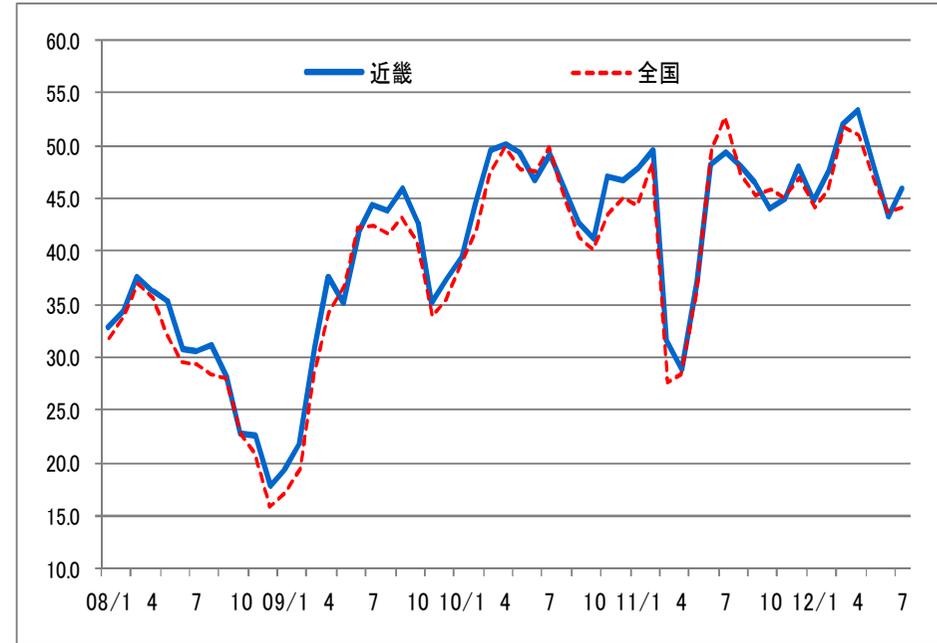
～個人消費～

大型小売店販売額（前年同月比・2012年6月まで）



（出所）近畿経済産業局

景気ウォッチャー調査（現状判断DI・方向性 2012年7月まで）

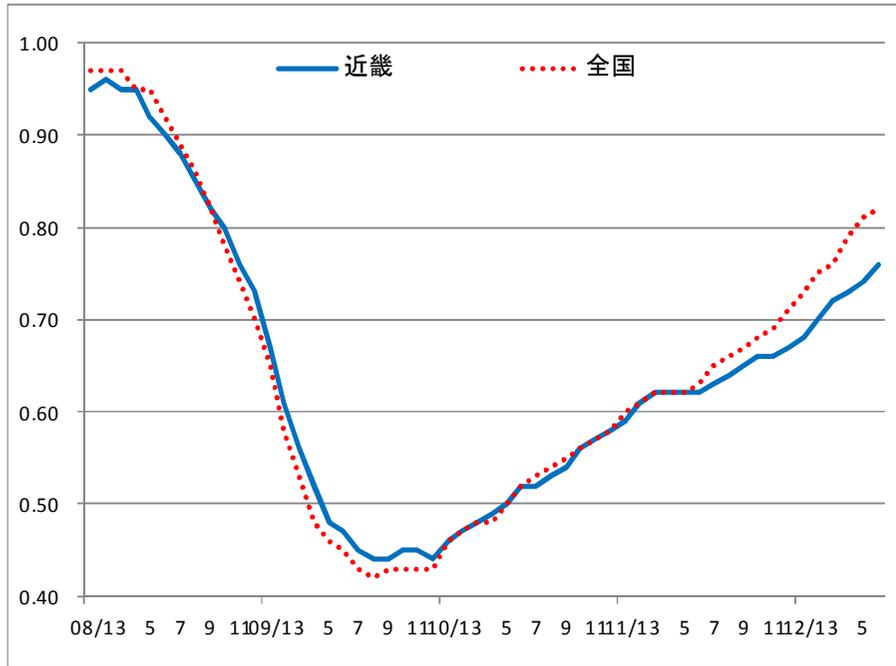


（出所）内閣府

- ・ 近畿の6月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲3.4%と4カ月連続のマイナス。
- ・ スーパーは同▲4.2%と43カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同▲2.1%と、3カ月連続のマイナス。
- ・ 昨年に比べ、気温が低かったことにより、夏物衣料等の売上減少により前年を下回った。
- ・ 全国の6月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同▲2.6% 2カ月連続のマイナス。
- ・ 7月の近畿の現状判断DIは前月比+2.7ポイントの45.9と、2カ月ぶりの上昇。気温の急上昇により季節商材の売行きが好調となったことにより上昇した。
- ・ 企業動向においては、引き続き円高等による受注の減少等がみられるが一部企業において受注の増加があったこと等から上昇した。
- ・ 全国の7月の現状判断DIは前月比+0.4ポイントの44.2。
- ・ 近畿の7月の先行き判断DIは前月比▲1.1ポイントの47.0と、2カ月ぶりの下降。
- ・ 全国の先行き判断DIは同+4.2ポイントの44.9。

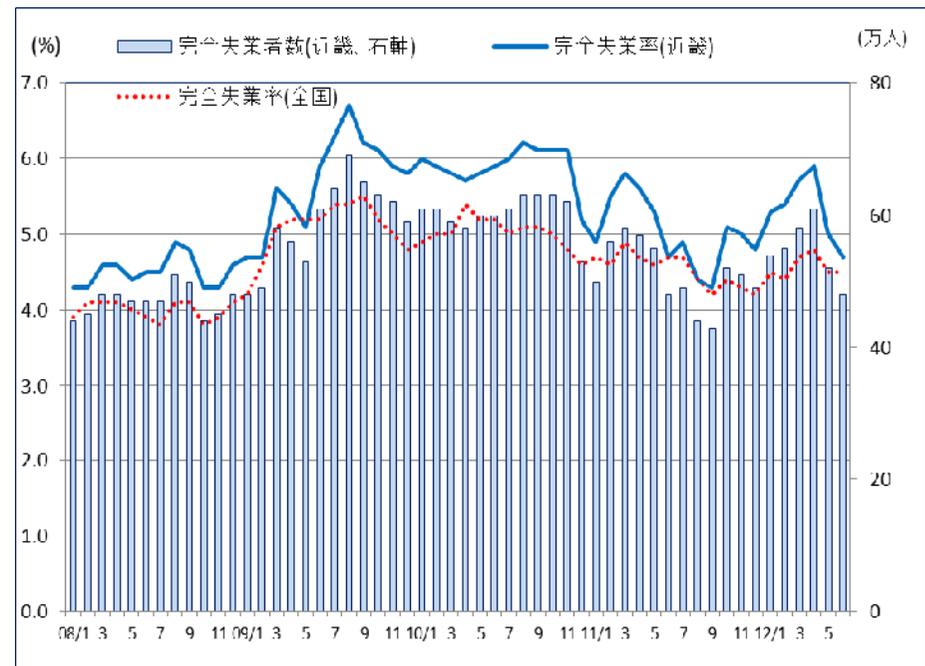
～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年6月まで）



(出所) 厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2012年6月まで）



(出所) 総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率2012年6月

	全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
5月	0.81	0.60	0.93	0.79	0.87	0.94	1.05	0.74	0.93	0.85	0.66
6月	0.82	0.59	0.92	0.81	0.86	0.95	1.04	0.76	0.92	0.86	0.68

- ・ 2012年6月の近畿の有効求人倍率は0.76倍、前月比+0.02ポイントと7カ月連続の改善。
- ・ 全国は0.82倍で、前月比+0.01ポイントの改善。

- ・ 6月の近畿の完全失業率（原数値）は4.7%。前月比▲0.3ポイントの改善。
前年同月比では横ばい。
- ・ 改善の傾向が継続している。

- ・ 6月の全国の完全失業率（原数値）は4.4%、前月から▲0.1ポイントの改善。
- ・ 6月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.3%、前月より0.1%改善。